

2017 年度の実業報告書

17 年 6 月 27 日から 18 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人かえる舎

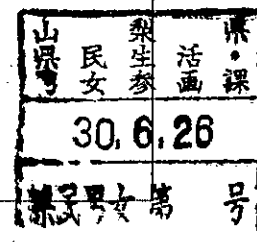
1 事業の成果

- ・以下の事業を実施した。
- ・市内高校と富士吉田市と連携協定の締結につながり、一層の連携の強化につながった。
- ・卒業した生徒の一部がすでに卒業後の地域との関わり方に変化をしめた。
- ・多くの人が生徒が作成した成果物にふれ、生徒が自治体 PR の役割を果たした。
- ・地元に残った生徒の中には一部、ポジティブな要因で地元に残った生徒もいた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千 円)
地域での若年 層の人口増に 係るコーディネート事業	富士吉田市内の高校において、生徒たちがより広い視野を持ち将来をみつめ、より満足いく自己実現を果たせるように対話型のワークショップを開催した。対話型のワークショップを踏まえて、地域の中で活動をしなが、働くような実際のイメージをくつきりとさせていった。2回とも地域内外の多くの社会人の参加を得て、多様な働き方、生き方に触れることができた。	(A)7月より企画、準備を進め、10/16 及び 2/13 に実施 (B)富士北稜高校 (C)30名	(D)富士北稜高校1、2年 (E)500名	680千円
地域での若年 層の人口増に 係るコーディネート事業	・地場産業を知る、伝える、解決するプログラムを実施した。本プログラムでは、地域の産業を取り扱い、次世代に地場産業の素晴らしさを感じてもらえるようなワークショップの開発を高校生が実施した。織物事業者を周り、産業廃棄物となる織物の素材を活用してプレスレット作成をし、それをイベントで子供向けの体験ブースを設置し、実現した。	(A)10/2 から随時行い、10/6,7 に実践 (B)富士吉田市下吉田地域と学校内 (C)3名	(D)富士北稜高校有志生徒30名と交流した地域の人 (E)150人程度	360千円



<p>地域での若年層の人口増に係るコーディネート事業</p>	<p>・地域の魅力としてのふるさと納税と連携し、ふるさと納税のお礼状を高校生がつくるプログラムを実施。高校生が地元の産業にふれあい、それをかつ形にして伝えることで、寄付者に地域のことを知ってもらうきっかけを創出した。それにより、高校生には地域の産品を扱う事業者のことを知るきっかけが生まれ、さらに地域外の寄付者も地域を知ってもらうというプログラムを実施した。</p>	<p>(A) 7/1 より随時活動。10月25日は事業者向けに完成したカードのお披露目会も実施。 (B) 富士吉田市内各事業所 (C) 5名</p>	<p>(D) 富士北稜高校の有志生徒15名と事業者4社、寄付者の数約1万人 (E) 上記の通り</p>	<p>360千円</p>
<p>地域での若年層の人口増に係るコーディネート事業</p>	<p>・高校生が地域を知り、郷土愛を育む事業として、高校生と自治体PRのためのウェブマガジン作成を行った。ウェブの構築から、記事の編集取材まで高校生が主体的にやっている。その成果として、生徒一人一人がなぜ、その事業を実施しているか意義を自分の言葉で話すことができるようになった。自治体のPRを高校生が担うことで、他にはない視点、地域への興味関心の湧き方が特徴的で、アウトプットベースの教育プログラムの開発に成功している。</p>	<p>A) 7/1 より随時活動。9月まではウェブのコンセプトを考え、10月からは企画会議アポどりを実施。12月1日に取材編集をすませ、2月23日にオープン。 (B) 富士吉田市内各事業所、イベント、学校内 (C) 5名</p>	<p>(D) 富士北稜高校有志生徒30名と交流した地域の人、WEBを見た人 (E) 50人程度、不特定多数</p>	<p>3740千円</p>
<p>地域での若年層の人口増に係るコーディネート事業</p>	<p>・高校生が地域をつたえることをテーマにした活動として、フリーペーパー制作も実施した。上記事業と同様に作成する上で、まず地域の魅力を発掘し、地域の魅力をどうすれば伝わるか生徒たちが考える中で、自分たちの言葉で地域を語れるようになっていった。自治体の良さ、地域の良さを生徒が発掘すると、たくさんの人や資源との出会いを通じた地域愛の情勢が可能となってくる。</p>	<p>A) 7/1 より随時活動。9月、10月に企画会議アポどりを実施。12月1日に取材編集をすませ、記事を作成していった。 (B) 富士吉田市内各事業所、イベント、学校内 (C) 5名</p>	<p>(D) 富士北稜高校情報系列30名と交流した地域の人 (E) 50人程度</p>	<p>2950千円</p>

2017年度 活動計算書
2017年6月27日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人かえる舎
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費		30000
2. 受取助成金等		
受取民間助成金		2550000
4. 事業収益		
富士吉田市市業務委託事業収益		5652720
経常収益計		8232720
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	1949286	
福利厚生費	513929	
人件費計	2463215	
(2) その他経費		
会議費	11117	
旅費交通費	299945	
謝金	76937	
業務委託費	2278240	
印刷製本費	19940	
交際費	130107	
支払い手数料	5724	
租税公課	4000	
新聞図書費	31766	
雑費	58641	
広告宣伝費	524409	
消耗品費	655583	
通信運搬費	369	
その他経費計	4096778	
事業費計		6559993
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	534600	
人件費計	534600	
(2) その他経費		
通信運搬費	420	
賃借料	100000	
租税公課	1650	
預かり金	39180	
雑費	23874	
その他経費計	165124	
管理費計		699724
経常費用計		7259717
当期経常増減額		973003
次期繰越正味財産額		973003

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

2017年度 貸借対照表

2018年3月31日現在

特定非営利活動法人かえる舎
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1985796		
未収金	110000		
流動資産合計		2095796	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2095796
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	606443		
預かり金	16350		
未払費用	500000		
流動負債合計		1122793	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1122793
III 正味財産の部			
当期正味財産増減額		973003	
正味財産合計			973003
負債及び正味財産合計			2095796

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

2017年度 財産目録
2018年3月31日現在

特定非営利活動法人かえる舎
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	33764		
都留信用組合普通預金	939239		
流動資産合計		973003	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			973003
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			973003